

三重県知事 一見 勝之 様  
鈴鹿市長 末松 則子 様

<要望署名>

2021年10月

鈴鹿青少年の森公園の自然を壊して  
サッカー場を造らないでください。

お名前	ご住所

- ①署名は子どもさんも、内容を理解してから署名いただいて構いません。  
②この署名は上の目的以外に使用しないことは会の総意としてお約束します。

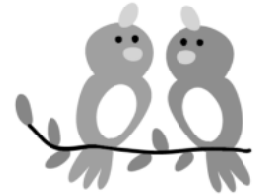


## 鈴鹿青少年の森を愛する会

(日本野鳥の会三重会員、ランニングクラブ、スズカ塾、有志などで結成)

- 【申し合わせ事項】①この森を未来の子どもたちに引き継ぐために活動します。  
②財政はみなさんのカンパで運営します。  
③会は共同代表を若干名置き、日常活動を運営します。

【事務局】萩森 繁樹 〒513-0012 鈴鹿市石薬師町354  
Tel. 090-4269-0965 メール hagi1922@tcp-ip.or.jp



## 利用者にきちんと説明せず、 公園の貴重な自然の森を大量に伐採して、 サッカースタジアムを造るのは反対です。

鈴鹿市長と(株)アンリミテッドは三重県知事に要望して、県民みんなの持ち物(公共財)である青少年の森の50,350㎡をタダで業者に貸し与え、サッカースタジアム(5,000人収容、やがては15,000人)等を建設するという話を決めました。

- ①市は一方的な記者発表だけで、市民や利用者には何の説明もしていません。
- ②森を壊すことへの環境モニタリング、生態系に及ぼす影響評価も公開・閲覧されていません。
- ③鈴鹿市は市民憲章のトップに「自然を愛し、緑豊かなまちをつくります」と掲げながら、何の説明もなく市の中心にある大事な森を大量に切ろうとしています。
- ④青少年の森は自然豊かな貴重な木や鳥、生物が息づく森です。絶滅危惧種もあり、一度壊したら元に戻すことはできません。生物多様性は破壊され、取り返しがつかなくなります。
- ⑤青少年の森は長年、市民の憩いの場、子育てといのちの治療・癒しの場、環境教育や野外活動、林間学校、キャンプ、スポーツ練習の貴重な場となってきました。
- ⑥市長は、市議会で、土地の形状を生かす、最小限の伐採にする、移植をするなどと言うだけで何の根拠説明(コンプライアンス)もありません。
- ⑦昨今、温暖化防止、カーボンニュートラルも言われる中、緑を切ることは時代に逆行します。
- ⑧大量の木を切った後の天神池(道伯池)の排水・治水が心配です。
- ⑨市内にJリーグチームが誕生するのは大歓迎です。スタジアムは既存の施設の増設、石垣池公園陸上競技場の新增設で対応したり、クラウドファンディングで資金を調達したりして、サッカー場を造るべきです。
- ⑩(株)アンリミテッドの資金力から見て、チーム力増強(J1並みの優秀選手採用・獲得)力があるとは思えません。市民が納得できるチーム増強計画も市民に説明されていません。

2021年9月

《よびかけ人》 赤嶺和彦、足立房枝、市川美代子、内田信也、勝谷鐵幸、桑原篤、  
佐倉邁、下井信夫、中村千代子、萩森繁樹、橋詰圭一、宮本英子、吉田一男

